

オリーフ会報

発行所
香川短期大学同窓会
オリーフ会報
(0877) 49-5500

責任者
会長 五嶋 啓子

印刷所
四国システム印刷株
(0877) 49-0142

創立50周年を迎えて



香川短期大学 学長 石川 浩

香川短期大学は、学祖・大久保彦三郎先生が明治17(1884)年に阿讃の山懐に開塾した忠誠塾に端を発する、学校法人尽誠学園の設置する短期大学です。昭和42(1967)年に普通寺市で開学、現在までに地域社会を支える有為な卒業生12,000余名を輩出して、本年創立50周年を迎えるに至りました。これもひとえに、みなさま方の温かいご支持・ご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

歴史を紐解けば、本学の歩んだ道程は決して平坦ではありませんでした。女子一貫教育の実現に情熱を燃やされた第2代学長・理事長の大久保直廣先生、そしてその名補佐役だった第3代学長・理事長の大久保保朗先生、開学時のご苦労は、筆舌に尽くしがたいものでした。しかし、学祖が抱いた創意と高邁な理想の継承へ、お二人の信念は揺るぎないものでした。

開学以来、本学は時代のニーズを的確に捉えた学科の改編・新設に努めて参りました。その精神的バックボーンとなったのは、学祖が究めた陽明学の教えでした。知育

偏重の教育と一線を画し、「愛敬誠」の建学の精神の下、教育刷新の道を実学と「日本伝統文化の尊重」に求め、社会人としての教養と豊かな専門性を身に付けた人材の養成を推し進めて参りました。

また、瀬戸大橋開通の翌平成元(1989)年に現在地の宇多津町へ移転して以降は、有為な人材の養成とともに、地域社会に開かれたコミュニケーション・カレッジとしての大学像を前面に打ち出しています。地域住民を対象とした公開講座や高校生への出前講座のほか、学生ボランティア活動など、平成12(2000)年に第4代学長・理事長に就任した大久保直明先生の全面的な理解を得て、その後も全教職員が一体となって取り組んでいきます。

少子高齢化が進展する中で、高等教育機関の在り方が問われる時代を迎えました。平成17(2005)年度から平成17(2005)年度から「第三者評価がスタートしました。本学はいち早くこれを受審し、国の定めた基準を満たしている」として短期大

を一層明確にすることが求められています。平成24(2012)年、文部科学省は大学改革実行プランとして「地域再生の核となる大学づくり」(COC構想)を打ち出し、短期大学の果たすべき役割として、地域の生涯学習機会の拠点となることや国際交流、産学官連携などに代表される社会貢献機能を果たすことを強く求めています。少子高齢化が進む社会にあつて、本学の存在意義をどこに置くか、課題は山積していますが、社会に役立つ人材養成に加えて、高齢者から主婦層まで誰もが訪れ、地域と共生できる短期大学像が強く求められていると確信しています。

創立50周年という節目を機に、半世紀の歩みを次代にどう継承していきけるかが大きなポイントです。学園が四国最古の私学として開塾して、から130余年。学祖の抱いた高邁な理想に、一歩でも近づけるよう、建学の精神を心の支えに、自由闊達で地域社会に愛される大学づくり、教職員一同気持ちを新たにすので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、創立50周年記念式典は、平成29年11月25日(土)午前10時から、本学講堂ホールで開催予定です。多くの方のご来臨を心よりお待ち申し上げます。また、創立50周年記念事業の実行に際して、本学同窓会・後援会(五嶋啓子会長)から多大のご厚志を賜りましたこと、ここに記して深甚なる謝意を表します。

を一層明確にすることが求められています。平成24(2012)年、文部科学省は大学改革実行プランとして「地域再生の核となる大学づくり」(COC構想)を打ち出し、短期大学の果たすべき役割として、地域の生涯学習機会の拠点となることや国際交流、産学官連携などに代表される社会貢献機能を果たすことを強く求めています。少子高齢化が進む社会にあつて、本学の存在意義をどこに置くか、課題は山積していますが、社会に役立つ人材養成に加えて、高齢者から主婦層まで誰もが訪れ、地域と共生できる短期大学像が強く求められていると確信しています。

創立50周年という節目を機に、半世紀の歩みを次代にどう継承していきけるかが大きなポイントです。学園が四国最古の私学として開塾して、から130余年。学祖の抱いた高邁な理想に、一歩でも近づけるよう、建学の精神を心の支えに、自由闊達で地域社会に愛される大学づくり、教職員一同気持ちを新たにすので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、創立50周年記念式典は、平成29年11月25日(土)午前10時から、本学講堂ホールで開催予定です。多くの方のご来臨を心よりお待ち申し上げます。また、創立50周年記念事業の実行に際して、本学同窓会・後援会(五嶋啓子会長)から多大のご厚志を賜りましたこと、ここに記して深甚なる謝意を表します。

香川短期大学の沿革

本学が学校教育法に基づく短期大学として開学したのは昭和42(1967)年4月である。本学の歴史はこのように極めて新しいが、本学の母体をなす尽誠学園は四国における私学最古の歴史をもっている。明治17(1884)年、陽明学派の漢学者であった学祖大久保彦三郎先生は、忠誠塾を三豊郡財田戸川に開き、その教育理想を「誠を本体とする我心」を尽くすことに求め、学園の礎石を打ちたてた。爾来130余年、先生のこの教育の理念は、尽誠学園の精神的支柱として今日に受け継がれている。

昭和42年	2月	家政科設置認可(文部省)
	4月	開学
昭和45年	4月	幼児教育学科設置
昭和47年	4月	家政科に家政コース及び生活デザインコース設置
昭和49年	4月	幼児教育学科第Ⅲ部を設置し、従来の幼児教育学科を幼児教育学科第Ⅰ部と改称
昭和54年	4月	家政科家政専攻家政コースを生活科学コースに改称
昭和59年	4月	家政科に情報処理コース設置
昭和62年	4月	経営情報科設置
昭和63年	4月	家政科を生活文化学科に改称し、生活文化専攻及び食物栄養専攻に分け、さらに生活文化専攻に次のコースを設置 生活科学コース・生活美術コース・生活情報コース
平成元年	4月	香川県綾歌郡宇多津町浜一番丁10番地に移転
平成2年	4月	幼児教育学科第Ⅲ部に保育コース及び教育情報コースを設置
平成4年	4月	生活美術コースをデザインコースに改称
平成6年	4月	幼児教育学科第Ⅲ部保育コース及び教育情報コースを統合し生活科学コースを生活文化コースに改称
平成13年	4月	生活文化学科生活介護福祉専攻設置
平成14年	4月	生活文化学科生活文化専攻に次のコースを設置 ファッション文化コース 生活文化学科食物栄養専攻に次のコースを設置 栄養管理コース・食品栄養コース 経営情報科に次のコースを設置 ビジネス情報コース・産業デザインコース
平成15年	4月	専攻科(福祉専攻)設置
平成19年	4月	経営情報科ビジネス情報コースをITビジネスコースに改称 経営情報科ITビジネスコースを経営情報コースに改称 経営情報科産業デザインコースをビジュアルメディアデザインコースに改称
平成20年	4月	幼児教育学科第Ⅰ部を子ども学科第Ⅰ部に改称 幼児教育学科第Ⅲ部を子ども学科第Ⅲ部に改称
平成21年	4月	生活文化学科生活介護福祉専攻に次のコースを設置 ケアコース・ウェルネスコース
平成24年	4月	生活文化学科生活介護福祉専攻ケアコースを生活文化学科生活介護福祉専攻とした。
平成25年	4月	生活文化学科生活文化コースをクリエイティブライフコースに改称 生活文化学科ファッション文化コースをファッションデザインコースに改称 生活文化学科生活情報コースをライフプランニングコースに改称
平成29年	4月	生活文化学科生活文化専攻クリエイティブライフコース、ファッションデザインコース、ライフプランニングコースを統合し経営情報科経営情報コースを情報ビジネスコースに改称 経営情報科ビジュアルメディアデザインコースをデザイン・アートコースに改称
11月		創立50周年記念式典

〇歴代学長

五代 石川 浩
四代 北川 博敏
三代 河西 三省
二代 小倉 胤雄
初代 小野 嘉明

〇学舎

昭和45年頃
昭和42年頃
昭和57年頃
現在

香川短期大学創立50周年記念式典のご案内

日時：平成29年11月25日(土)午前10時から
会場：香川短期大学 講堂ホール

第1部 創立50周年記念式典
第2部 記念コンサート

連絡先：香川短期大学創立50周年記念事業実行委員会
TEL 0877-49-5500

ご臨席いただける際は、10月25日(水)までにご連絡をお願いいたします。

トピックス

★おめでとう!第31回 管理栄養士国家試験合格者

鎌倉 知余美(食物栄養専攻 平成25年度卒) 佐川(東尾) 一恵(食物栄養専攻 平成13年度卒)
 松岡(原田) 有紀菜(食物栄養専攻 平成16年度卒) 蓮濤(波井) 涼子(食物栄養専攻 平成26年度卒)
 今日合計3名の卒業生が合格しました。おめでとうございます。
 今後受験された方は是非ご連絡ください。ご報酬をお祈りしています。
 連絡先:香川短期大学生活文化学部食物栄養専攻 次田 一代
 TEL:0877-49-8071 FAX:0877-49-5561 E-mail:tsugita@kjc.ac.jp

★平成30年度管理栄養士国家試験対策講座のご案内

日 時:平成30年4月7日(土)より、9、10月を除く毎月第2土曜日13時~16時
 場 所:本学食物栄養実践給食実習室 講師:本学食物栄養専攻専攻員
 受講料:無料。ただし、基本的なテキストとして、クエスチョン・バンク管理栄養士国家試験問題解説2018(医療情報科学研究所編、メディックメディア発行、定価4,880円)を使用しますので、各自でご購入をお願いします。
 対 象:本学の卒業生及び在学生
 お申し込み及びお問い合わせ:下記の連絡先に、TEL、FAXまたはE-mailにてお願いします。
 連絡先:香川短期大学生活文化学部食物栄養専攻 次田 一代
 TEL:0877-49-8071 FAX:0877-49-5561 E-mail:tsugita@kjc.ac.jp

★平成29年度管理栄養士国家試験対策講座の日程

平成29年度の後期の講座(隔隔日:10/7、11/11、12/9、1/13、2/10、3/10)が始まります。あらかじめご連絡をいただければ資料をご用意しますので、自由にご参加ください。

I VMDコース学生(H28年度卒)受賞・入選!

「かがわ文化芸術祭2016ポスター原画」
 優待賞受賞: 稲井 梨穂
 優 秀 賞: 河原 優子、高橋 佳世
 奨 励 賞: 一宮 加奈



II 第8回英国ノーサンブリア大学アート・英語研修

日 時:2016年8月28日~9月10日
 学生名:大岡 由哉、溝淵 加奈子、
 森 百合恵 (H28年度卒)、片山 めい (VMD2年)



III ポーランドのアーティスト、カタジナ・ジュバ氏来学、学生講義

日 時:2016年4月25日



IV 多摩美術大学学長 建島哲氏 講演会

日 時:2016年7月23日(土)
 会 場:香川短期大学



V 「素晴らしい世界!アートコンポ2016」作品制作・出品

実行委員長/顧問(久保) 直子 (H14年度卒)
 作品出品/稲井 梨穂、金井 麻衣 (H28年度卒)、
 岡内 麗星、松岡 恵里、山下 莉奈 (VMD2年)
 日 時:2016年11月7日~20日
 会 場:高松空港「空の美術館SKY MUSEUM」



★介護支援専門員試験対策講座開催のご案内

本学生活介護福祉専攻の卒業生を対象に、介護支援専門員実務研修受講試験の受験対策講座を開催致します。
 詳細は平成30年4月にホームページにて案内いたしますので、ご希望の方はご連絡ください。合格に向けて一緒に頑張らしましょう!

★平成30年度入学生より新しい資格導入「子ども音楽療育士」

この資格は、ことばや身体機能、発達のおくれがある子どもたちに、音楽を通して援助を行うための、音楽療育に関する基礎知識・専門知識に加え、必要とされる技術と実践能力を認定する資格です。資格取得で学んだことは、保育現場での歌・唄・演奏などを活用した発達に合わせた音楽遊びに活かされます。保育者として深みが育つようなスキルアップができます。



★高校3年生対象の幼稚園実習(8月9日、8月10日)を行いました

園児とふれあいました。
 この実習は、ことばや身体機能、発達のおくれがある子どもたちとふれあい、保育者として喜びを実感できる実習を企画しました。香川短期大学附属幼稚園では、夏休み前が保育体験として一日実習を2回行いました。同日とも定員は30名です。来年度も引き続き行う予定です。

編集後記

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。この度オリブ会報第49号をお届けすることになりました。編集後記は、今後も皆様と共に楽しい紙面づくりを心がけていきたいと思います。ご意見、ご感想がございましたら、編集後記にお寄せください。併せて来年の同窓生のまごの記事も募集いたします。お店、イベントなどの紹介も可。宛先:香川短期大学オリブ会報 締切:平成30年5月31日 必着
 最後までお読みいただき、感謝申し上げます。ありがとうございました。

大学祭開催のご案内

香川短期大学 大学祭 2017

日時:2017年10月21日(土) 22日(日)

時間:10時~開演式9時45分

テーマ:絆(なぐ)

10.21(土) 二人対戦 7人リーグ戦

10.22(日) 15分ミニサッカー

第50回 香川短期大学大学祭

卒業生にオリブ賞(同窓会会長賞)授与
 平成二十八年度は、生活文化学科生活文化専攻の梅田佳奈さん、中野美桜さん、林早紀さんに授与いたしました。
 三名の学生は、「うたづの町家とおひなさん」をはじめ地域の要望に応えた製作活動を行い、多大な成果を収め本学の名声を高めました。



「どっさん☆くらぶ」の様子

●本部だより●

評議会

- 平成29年度評議会
 於 短大2階小会議室 4月15日(土)
- 1.平成28年度務会会計報告
 - 2.平成28年度会計監査報告
 - 3.平成29年度行事予定
 - 4.平成29年度予算案作成
 - 5.オリブ会報について
 - 6.その他
 - 7.新役員紹介
 顧問 石川 明子
 会長 五嶋 和代
 副会長 細川 久美子
 監事 米子 里沙
 久美子 小松 上北
 理事 中松 久美子
 米子 上北
 - 8.新評議員紹介
 生活文化2 8 塩原 千尋
 生活文化2 8 遠藤 祥子
 子ども7 藤原 詩織
 子ども8 原田 美沙
 子ども8 奥村 樹
 森 裕香
 経営情報2 9

学内ニュース

- <平成29年度採用された教職員>(敬称略)
 高儀 雅俊(生活文化専攻 准教授 総務部長)
 林 美代(子ども学科第1部 准教授)
 <平成28年度退職された教職員>
 松本(常田) 美穂
 北川 裕美子
 松原 達郎
 近藤 佐奈恵



会報報告

平成28年度決算報告		平成29年度予算	
収入の部		収入の部	
前年度繰越金	61,883	前年度繰越金	74,000
会費	1,135,000	会費	1,120,000
定期預金解約金ほか	300,572	定期預金解約	707,143
計	1,497,455	計	1,966,126
支出の部		支出の部	
会報印刷費	69,120	会報印刷費	67,500
通算費	676,630	通算費	677,500
会費	554,350	会費	573,500
会費	15,172	会費	23,000
会費	0	会費	10,000
委託管理費	43,200	委託管理費	611,126
予備費	0	予備費	1,966,126
計	1,358,472	計	1,966,126
差引残額	138,983	差引残額	0
※入会金納入時期を2年時に変更		定期預金	6,912,240

同窓生のまご

創立五十周年によせて 香川短期大学同窓会 オリブ会会長 五嶋 啓子

香川短期大学は、今年創立五十周年を迎えます。百三十年を越える歴史を持つ、誠実な学問を母体として「愛敬・誠」を建学の精神とし、昭和四十二年に普通寺市に開学いたしました。当時は、一棟のみの学舎と六十二名の学生、家政学科被服コースと食物コースの二クラスでした。入学式において小野嘉明学長先式において「大学らしい教育」と強調されました。また、「大学」というと「研究と教育の最高学府。短期大学はそれの最期間にやる」ということ。理想を高く持って、実現に向けて絶えず努力することが大切。と先輩のいい言葉、手探りの私たちに学生生活の方向性を示し、応援してくださいました。校友会の立ち上げ、大学祭の開催、北海道への修学旅行等々、様々なことが思い出されます。学生数が少ないためか、先生方や学友たちとの距離も近く、濃密だったように思います。当時の私たちに、香川短期大学の「基」を作り、とにかく形にして残し、次へと繋いでいくという、「一回生としての気負い」があったように思います。その後、時代の要請に応えて設置学科の増設や改編、学舎の増改築や平成元年宇多津町への移転、昭和五十三年のぞみ保育園、平成十四年附

属幼稚園の開園と充実発展してまいりました。平成六年からは二十年連続就職率一〇〇%を達成したこと。地元企業との産学連携の取り組み。毎年一千人を超える園児を集めてのこと。劇場。介護講習やボランティア活動。地域に開かれた「コミュニケーション・カレッジ」としての役割を果たし、社会貢献に積極的になり、学校であったことな事や帰り道での様子を話してくれる。思わず笑ったり、考えさせたりである。

現在、私は、地域の中でいゆるな活動や遊びを通して生きる力を育む、放課後子供教室「どっさん☆くらぶ」のスタッフとして週に二回孫の様な子ども達と関わっています。古民家を利用し、子どもから大人が交流を深められる居場所づくりを展開し、より良い社会づくりを目指しているNPO法人さめきつすコミュニケーションです。人と人との繋がりが希薄化している現代に無くてはならない活動だと感じています。その活動の拠点が、我が地域丸亀市土器町にある事は嬉しい事です。子育てに関しての研修会に参加した際に、代表者から「活動に参加しませんか」と声を掛けられ今に至ります。

幼児教育学科第三部を卒業し三十年を越えている。今、自分自身の子育てを経験し、親を見送り、様々な社会経験も積み考え方に幅が出来た。今、若い時に幼稚園教諭として勤めていた時と違いますが、子どもとの関わりが出来るとは思いません。思い起こせば動きながら工場で二交代制の勤務をしながら、普通寺の短大へは会社のマイクロボスで送迎をしてもらっていました。卒業という目標を持って仲間と通った三年間、講義中は睡魔

との戦いであり、実技であるピアノは、練習時間の確保に苦労しました。もって真剣に学んでいればという思いはありますが、私の人生の軸を作り上げてくれた貴重な三年間であったと思います。短大で学んだ三年間が、今、放課後子供教室に繋がっている事、嬉しく思います。子ども達と過ごせる今を大切に、笑顔をお忘れず、子ども達に負けない様、成長していきたいと思っています。

